

ときを越え
受け継がれるもの

出羽神社（羽黒山）

＝ 水沢区羽田町字御山下 ＝

東北新幹線水沢江刺駅から東に約200㍎、「羽黒山出羽神社」と書かれた看板が目を引く。その先の鳥居から続く参道を登った頂に、出羽神社はある。

坂上田村麻呂が、山形県の羽黒権現に立願し、延暦16年（797年）に東北を平定。鎮護のため、激戦のこの地に羽黒権現を勧請したとされている。その後、前九年合戦では源義家が祈願し、奥州藤原氏の信仰も厚かったという。安永2年（1773年）の安永風土記には、郡鎮守羽黒山羽黒権現と記されているが、明治の神仏分離により出羽神社となった。また、この地を、巢伏の戦いで阿弓流^{アテ}流^ルが伏兵を潜ませ朝廷軍を撃退した「東山」とする説もあり、平成17年、阿弓流^{アテ}流^ルが、母禮^{モレイ}の偉功を偲び、地元有志によって慰霊碑が建立されている。

郷土を巡り戦った英雄たちゆかりの出羽神社と慰霊碑。平和が訪れたこの地を、今は静かに見守り続ける。



1

1 現在の拝殿は嘉永2年（1849年）、本殿は文化2年（1805年）に建立された
2 参道入り口は大きな看板が目印。ここから約600m先に境内へ続く石段がある
3 拝殿から西に約200mほどにある阿弓流^{アテ}流^ル・母禮^{モレイ}の慰霊碑。毎年9月第2土曜日に慰霊祭が行われる
4 慰霊碑のある古塚から西を向くと、眼下に胆沢平野が広がる。古代の英雄たちも同じように郷土を眺めたのだろうか



2



3



4

広告

